

卒業式式辞（2019年3月16日）

平成という時代が終わろうとしています。本日が平成の最後の記念すべき卒業式・学位記授与式です。平成の時代として、災害の時代、停滞の時代などという総括がなされることもあります。確かに未だ癒えることのない大災害が連続して起こり、経済成長も停滞していたという時代であったと言えるかもしれません。しかし、「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています」という退位される現天皇のお言葉は明治、大正、昭和とは異なる平成を見つめて来られた温かい総括ではないでしょうか。

本日、ここに、京都薬科大学・法人役員、名誉教授、教育職員、事務職員、そして京薬会役員、教育後援会役員、卒後30周年および50周年の皆様方のご臨席のもと、2018年度卒業式・学位記授与式を挙行できますことは、京都薬科大学にとりまして大きな喜びであるとともに平和に守られた証しでもあります。

ただいま、薬学部を卒業された352名、大学院薬学専攻博士課程を修了された8名、薬科学専攻博士後期課程を修了された2名、そして論文博士5名の皆さんに、卒業証書ならびに学位記を授与致しました。誠におめでとうございます。また、ご父母ならびにご関係の皆様におかれましても、さぞお喜びのことと拝察申し上げます。

さて、学部を卒業、また大学院を修了される皆さんの脳裏には、本学での生活のなかでの多くの思い出が走馬灯のように駆け巡っていることでしょう。学部を卒業される皆さんは、専門科目を含めて多岐にわたる科目、学外実習、薬学総合研究、アドバンスト薬学、その成果を問う各科目の試験、さらには共用試験、アドバンスト薬学試験というハードルを越えてこられました。ときには、息切れするような大学生活であったことと思います。そのハードな生活にも関わらず、多くの方はクラブ活動、課外活動、さらにはアルバイトと時間を無駄にすることなく、多くの経験を積まれたことでしょう。大学院を修了される皆さんにおかれては、ほとんどが研究室での研究活動に費やされた日々で、計画した実験

がうまく行かない日々を過ごされたかもしれません。そのうえに、報告会、セミナーや学会などでの発表の期限に迫られたこともあるでしょう。このような日々の連続の中で、すべてを投げ出してしまいたいと思われたこともあるかもしれません。しかし、今日ここに卒業証書や学位記を手にしたことは、苦しい日々を皆さんの力で乗り越えられたことの証しであります。

さて、昨今、社会活動に有為な人材の養成が社会から求められております。本学のように私学と雖も、人材の育成のために国費が投入されています。これから考えても、役立つ人材の育成が大学に求められることは当然のことではあります。しかし、それが嵩じるあまり、実社会に役立つ即戦力の育成という近視眼的な要求も多々見られます。大学の、大学院の教育の本来の目的は、高等教育を受けた人材として社会を動かすために必要な基本的能力を付与し、磨くことにあります。決して、即戦力を育成する場ではありません。本学では、皆さんが社会に出られて活躍されるのに必要な「科学」「技術」「人間性」を育む教育を行ってきました。在学中、妥協のない、厳しい裁定を経験されたかもしれません。しかし、これは本学で学んだことを基に社会を動かすために必要な基本的な力を身に付けて欲しいという方針に基づくものであります。ご家族、ご関係の方々、さらには教職員に守られた大学という枠組みの中の生活は、本日をもって終わりました。自分の人生を、自分の力で描く時が来ました。社会の流れを無視することなく、どのような個性的な人生を、困難を重ね、粘り強く描くか、これに必要な「科学」「技術」「人間性」は本学での日々の勉学で培われたはずです。京都薬科大学で学んだことを社会で実践する、つまり本学の建学の精神「愛学躬行」であります。自信を持って自分の人生を自分で描くことによって、社会を動かして頂きたいと思っております。

最後に。今日まで精神的にも、経済的にも支えて頂いたご父母ならびにご関係の皆様への感謝の念を忘れずに、京都薬科大学という母なる港を振り返ることなく漕ぎ出して下さい。あなた方は本学の建学の精神を基にした学士、博士に相応しい力をつけられました。

自信をもって漕ぎ出してください。そして、自分一人では越えられない荒波に直面したとき、さらなる目標が湧いてきたとき、楽しいときでも、苦しいときでも、どんなときにも、皆さんの活躍を願って見守り、ともに大学生活を送ってきた本学の職員や先輩、後輩がいる母港を思い出して下さい。全職員、皆さんが戻って来られることをお待ちしております。社会で経験された話を伺うことを楽しみにしております。

では、また新たなる姿でお会いできますことを願って、私の式辞と致します。

2019年3月16日

京都薬科大学長 後藤直正